

**科目名称：京都府立大学公開森林実習「温帯針葉樹林実習」**

1 単位，標準履修年次：1 年以上

担当教員：高原 光，平山貴美子

実施時期：2018 年 9 月 11 日（火）～ 9 月 14 日（金）

集合時刻：2018 年 9 月 11 日（火） 13:00

集合場所：京都府立大学下鴨キャンパス 正門付近

実施場所：京都府立大学大野演習林および スギ原生林

住所：〒601-0774 京都府南丹市美山町脇谷 ホームページ：[http://uf.kpu.ac.jp/kpu\\_uf/](http://uf.kpu.ac.jp/kpu_uf/)

アクセス 演習林へのアクセスは上記 HP 大学へのアクセスは <http://www.kpu.ac.jp/>

問い合わせ先： Tel 075-703-5683, e-mail [takahara@kpu.ac.jp](mailto:takahara@kpu.ac.jp) (高原)

**対象学生：**全国大学の森林系分野において学んでいる学生，もしくは森林系分野への分属を希望している学生。1 年生以上。単位互換協定締結校優先。

**定員：**10 名（希望者が多い場合は志望理由書や大学間のバランスを考慮し選抜，受付締切後に各大学に受講生を通知）

**実習概要：**スギ，ヒノキ，コウヤマキなどの温帯性針葉樹は，植生帯のなかでは，主には中間温帯林として，暖温帯と冷温帯の境界域に分布するとされている。しかし，

近年の研究によって，約 1000 年前以前には，西日本の日本海側地域では広くスギが優占する針葉樹林が広がっていたことが明らかになっている。京都府内には，暖温帯に，スギの巨木が優占する天然スギ林が京北町や宮津市に分布している。また，京都府立大学大野演習林は 100 年生のスギ人工林を擁している。温帯性針葉樹を代表するスギの巨木からなるスギ天然林，人工林の林相や林分構造を調査する。さらに，スギの植生史を講義によって学んで，温帯性針葉樹林の植生帯での位置づけを理解する。

**実習内容**（天候の状況によって，プログラムが変更される可能性があります）

第 1 日：京都府立大学から大野演習林へ移動，100 年生スギ人工林毎木調査

第 2 日：片波スギ原生林調査

第 3 日：上宮津スギ原生林調査

第 4 日：調査結果のまとめと発表，「温帯性針葉樹林とその歴史」講義

参加費用：6,500 円（宿泊・食事関連費用，雑費等合計）。現地集合時に集金する。集合場所までの旅費は自己負担。

**提出書類：**①～④は [http://uf.kpu.ac.jp/kpu\\_uf/](http://uf.kpu.ac.jp/kpu_uf/) にて入手できます。

①依頼書（履修希望学生の所属大学学部長から京都府立大学生命環境学部長へ）

②履修願（履修希望学生から京都府立大学生命環境学部長へ）

③申告書（履修希望学生から所属大学学部長へ）

④受講志望理由書

⑤学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

**キャンセルポリシー：** やむをえず欠席の場合は 9 月 3 日までに連絡すること。それ以降は食事代（6,000 円を予定）のみ全額負担となります。

**提出先：**履修希望学生が所属する大学の農学部等事務（各大学事務から，〒606-8522 京都市左京区下鴨南木町 1-5 京都府立大学生命環境学部附属演習林事務室宛 2018 年 7 月 27 日（金）必着で届けること）



片波スギ原生林